

## 7月臨時教育委員会会議録

- 1 日程 平成30年7月30日(月)
- 2 場所 市役所3階 会議室305
- 3 案件
  - 会議録署名委員の指定について
  - (1) 審議事項
    - 審議第1号 教科用図書採択について
- 4 出席者


教育長	多田 実
教育委員(教育長職務代理者)	藤本 英生
教育委員	糸野 聡史
教育委員	福村 尚子
教育委員	足立 敦子
- 5 事務局出席者 教育部長(教科用図書選定委員長)  
教育部理事兼次長(教科用図書選定副委員長)  
教育総務課長、学校教育課長、学校教育課課長代理兼チーフ  
学校教育課主幹、学校教育課主幹、学校教育課主幹
- 6 書記 教育総務課主事補

午後3時00分 委員会開会を宣して日程に入る。

### ○教育総務課長

会議に先立ちまして、事務局から本日の傍聴者の報告をさせていただきます。藤井寺市教育委員会傍聴人規則に基づき、傍聴希望者を募集したところ、本日は14名の希望者がおられました。事務局で傍聴手続きを行い入場していただいておりますので、報告させていただきます。

では教育長よろしくお願いたします。

### ○教育長

只今から、臨時教育委員会を開会いたします。

本日の臨時教育委員会の案件は、「平成31年度使用中学校教科用図書の採択」及び平成31年度から中学校で新たに教科となります「平成31年度使用中学校教科用図書 特別の教科 道徳 の採択」及び「平成31年度使用小学校教科用図書の採択」となっております。内容に入る前に、本日の会議録署名は、委員にお願い致します。どうぞよろしくお願いたします。

まず最初に、「平成31年度使用中学校教科用図書の採択」を行います。教科用図

書の採択については、文部科学省通知「教科書採択における公正確保の徹底について」に基づき採択します。

平成30年度においては、中学校「特別の教科 道徳」の教科書について新たに採択を行います。それ以外の教科書については、「基本的に平成29年度と同一の教科書を採択しなければならないこと」と示されております。藤井寺市におきましても、「平成31年度使用教科用図書は今年度と同様のものを採択すること」としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

では、「特別の教科 道徳」を除く中学校の平成31年度使用教科書は、平成29年度と同一の教科書を採択することに決定します。

つづきまして、「平成31年度使用の中学校 特別の教科 道徳の採択」を行います。それでは委員の先生方には、選定委員会の答申を踏まえながら、学習指導要領の趣旨を踏まえ、本市の実態に考慮した、最適な教科書を採択するために、幅広い審議をお願い致します。去る7月17日に藤井寺市立学校教科用図書選定委員会の答申を受けました。答申にもありましたように、藤井寺市によりふさわしいと考えられる教科用図書の推薦もしていただいております。本日は、その答申内容も参考にしながら審議し、採択を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

それでは、採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

特別の教科 道徳の採択候補図書8社についての特色等について主なものを簡潔に説明させていただきます。

まず東京書籍では、特に「人権の取扱い」「創意・工夫」に特徴があります。その中でも、授業を支援する学習ツールが用意されており、話し合い活動や思考の質を高めるための工夫がなされています。また、「いじめ防止」や「生命の尊さ」をテーマにした教材は、複数教材を組み合わせたユニット構成とし、重点的に考えるための工夫がなされています。選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に学校図書では、「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」に特色がみられます。その中でも、「いじめ」と向き合うテーマについて、いじめを許さない直接教材といじめを起させない間接教材が用意され、生徒の心情を育む手立てとなるよう配慮されており、学びを確かめ、振り返って、自分自身に活かしていくことができるよう工夫されています。また、4つの内容項目「自分自身のこと」「人との関わり」「集

団や社会との関わり」「生命や自然との関わり」が、学期ごとに偏りなく実施されるよう教材を配置しています。選定委員会は学校図書を推薦しております。

次に教育出版では、特に、「目標・内容の取扱い」「内容の程度」に特色がみられます。その中でも、「考え、議論する道徳」をテーマに、全学年、すべての教材名（タイトル）の下に「学習目標」が記載され、生徒に学習する目標を意識づけると共に、教材の最後のページに、「学びの道しるべ」として3つの発問を用意し、生徒が、何を、どのように考え、話し合っていくのかを分りやすく提示されています。また、歴史やスポーツのさまざまな分野で活躍した人物の生き方を数多く取り上げ、生徒が親しみやすく、自らを高めていこうとする意欲を育てるよう配慮されています。

次に光村図書出版では、特に「目標・内容の取扱い」「内容の程度」「創意工夫」に特色がみられます。その中でも、各教材の末尾に「学びのテーマ」や「考える観点」等の5つの要素が示されており、生徒が主体的に学びを深めることができる様に、十分配慮されています。また、「いじめ」「共生」「社会参画」「情報モラル」等、現代的な課題について幅広く多面的、多角的に考えるための教材が準備されており、子どもたちが主体的に考え、道徳的实践を主体的に行う意欲と態度を育てるように十分配慮されています。さらに、巻末に学びを振り返ることのできる「学びの記録」が設けられ、生徒が主体的に、これからの課題や目標を見つけることができるよう工夫されており、小中連携を考えた補助教材を配置して、「学び直し」ができるようにも工夫されています。このような点から、選定委員会は光村図書出版を推薦しております。

次に日本文教出版では、特に「人権の取扱い」「組織・配列」「発展的な内容」に特色がみられます。その中でも、人間尊重や生命の尊さについて、多面的、多角的に考える事のできる教材が幅広く取り上げられており、「いじめ」と向き合う教材も各学期で取り扱えるように工夫されています。また、「本編」と「道徳ノート」の2分冊で構成されています。全ての年間の教材を学びのテーマごとに示し、重点項目については複数の教材から学習できるようにし、効果的なカリキュラムが組めるように組織・配列されています。さらに、「道徳ノート」にある「自分にプラスワン」で生徒が多面的・多角的な思考を深められるよう工夫しています。

次に学研教育みらいでは、特に「人権の取扱い」「組織・配列」に特色がみられます。その中でも、教科書がA4サイズになっており、ゆったりとした紙面構成で、全ての生徒にとって視覚的に捉えやすいよう工夫されています。また、命について取り扱う教材を毎学期配置し、自分の命や、自分の命とかかわりあう他者の命について多角的・多面的に考える授業が展開できるよう工夫されています。さらに、物事を多面的、多角的にみるために、同じ人物や事柄を描いた教材などを並べて配置し、ユニット教材として位置づけ、複数時間の授業を関連させて、異なる視点や内容項目から考えを深めさせる工夫がなされています。

次に、廣済堂あかつきでは、特に「創意工夫」「発展的な内容」に特色がみられます。その中でも、「本編」と「道徳ノート」の2分冊で構成され、本教科書の大きな特徴となっております。別冊ノートは、生徒の学習状況や授業の進め方に応じて、弾力的な活用がしやすい工夫がなされています。また、「学習の手がかり」では、本時のめあてを示し、教材を考えていく手がかりとしての発問が記載され、「考えを広げる・深める」では、生徒が更に考えを深められる内容が記載され生徒が発展的に学習できる工夫がなされています。さらに、情報モラルに対して発達段階に応じ

て様々な角度から考え、理解しやすいようよく配慮されています。このような点から、選定委員会は廣済堂あかつきを推薦しております。

最後に、日本教科書では、特に「内容の程度」「創意工夫」に特色があります。その中でも、生徒と同じ年頃の人物を描いた教材を多数取り入れ、学校生活における出来事について自己との関わりの中から深く考えることができるように工夫されています。また、学年ごとに心の成長がふり返ることができるページが設けられ、これからの課題や目標を見つけられるように工夫されています。

以上、特別の教科道徳8社について説明いたしました。以上です。

#### ○教育長

ありがとうございました。ただ今選定委員長の方から、各8つの教科書の特色について説明いただき、また、選定委員の推薦として東京書籍、学校図書、光村図書、廣済堂あかつき4社について推薦しているという内容もございました。それでは、委員の先生方、最初は特にこの点についてという観点は定めませんので、お気づきの所等ご意見をよろしくお願いいたします。

#### ○委員

それぞれの教科書の特徴を説明いただきまして、よくわかりました。選定委員会では4社の教科書を推薦されていますが、選定委員会で主にどんな点が議論の柱になっていたのか、その点を教えていただけのでしょうか。

#### ○選定委員長

はい、特に選定委員会で議論になった点は、次期学習指導要領で重視されている「生徒が道徳的価値に関する課題を多面的・多角的に考え、生徒同士が議論する中で、考えを深める事ができるように、どのように配慮されているか」という点でした。また、「いじめや情報モラルについて、どのように扱われているか」「学習を通して、生徒が考えたことや感じたことを振り返るための工夫がどのようにされているか」などが議論になりました。以上でございます。

#### ○教育長

ありがとうございました。よろしいでしょうか。続いて、委員の皆様方ご発言をお願いいたします。

#### ○委員

道徳が教科化されたのは、深刻ないじめ問題が発端となったと私は捉えています。ですから、「各教科書がどのようにいじめについて取り上げ、どのように子どもたちに考えさせようとしているのか」ここが、教科書を選ぶ上での大切な要素ではないかと思えます。私はまず、「いじめ」を考える時に、根本にある「命」について、子どもたちには考えてもらいたいと思えます。学研教育みらいでは、命について取り扱う教材が毎学期配置されています。例えば、1年の教科書で見ると、1学期に16ページの「あなたに」で、出産のことを題材に、2学期に96ページの「たとえ僕に明日はなくとも」で、難病患者のことを題材に扱っております。3学期には、168

ページの「捨て犬・未来」で犬の命を題材にし、常に子どもたちに、「命」について多角的・多面的に考えさせるようにしているところが工夫されていると思います。

○教育長

今、委員からいじめの扱い、根本にある命の扱いについてのご発言がございました。いじめ等についての扱いについて、話題を絞っていきたいと思いますが、この辺りについて、何かご発言はございますか。

○委員

「いじめ」をテーマとした教材であれば、廣済堂あかつきでは、人権・いじめ防止に関する教材と情報モラルに関する教材を多数掲載し、各学年でさまざまな角度から考えられるように工夫がされています。例えば、2年生では、40ページ「君、想像したことある?」、96ページ「路上に散った正義感」、別冊26ページ「正義と公平さを重んじ、公平な社会をつくる」など発達段階やクラスの状況に応じた授業展開をすることが可能であり、被害者、加害者、観衆・傍観者、仲裁者といったそれぞれの立場から考えられるよう配慮して教材が掲載されていると感じます。

○教育長

他にございますか。

○委員

日本文教出版も各学年・各学期で取り扱えるように工夫されていると思います。廣済堂あかつきの話でも出てきた「いじめの構造」を1年生34ページ・35ページで扱っています。また、同じく42ページ・43ページ「怒りの感情と上手につき合おう」では、自分自身の感情を振り返ることによって「いじめ」を考える教材を掲載しております。次に88ページ「むかで競争」、160ページ「自分だけ「余り」になってしまう・・・」など発達段階に応じ、3年間を通して計画的に学習をしていけるように配慮されています。また、いじめのテーマを「直接的」、「間接的」に扱う教材を組み合わせているのも特徴の1つだと思います。先ほど例に挙げたものは「直接的」な教材ですが、44ページ「トマトとメロン」や82ページ「二人の約束」は、個性の尊重や友達関係から「いじめ」について考えるきっかけになるような間接的な教材も掲載しています。

○教育長

いじめの取扱いについてのご意見がでていますが、もう少しいじめについての取り扱いを進めてみたいと思います。他にご意見ございますか。

○委員

「いじめ」の教材については、光村図書におきましても詳しく書かれています。例えば1年生の教科書では、8ページ「自分で決めるって」60ページ「魚の涙」81ページ「言葉の向こうに」99ページ「やっぱり樹里は」168ページ「裏庭での出来事」183ページ「親友」とそれぞれ生徒の実際の生活に合わせた形で、その時期

に合った教材を配置しています。また、その教材一つ一つで、「あなたならどうするか」を真正面から問う、「考え議論する道徳への転換」と文部科学省のホームページに書いてありましたが、まさに、子どもたちが自ら多面的・多角的に考え議論し、非常に深く考えていく事ができる教材が取り上げられているなど思いました。

#### ○教育長

今いじめについてということで話を進めておりますが、私の方からも発言させていただきます。私も光村図書について付け加えさせていただきますと、2年生の135ページをご覧ください。「明日、みんなを着よう」でピンクのシャツを着ている運動、活動が紹介されています。いじめの反対運動をこういった形で取り上げたりまた、3年生の58ページをご覧ください。佐賀県の中学校の「いじめ追放宣言」をとりあげて、子どもたち自身が自分たちで考えて行動に移すというところまで取り扱われている。やはりそこまでしないと子どもたちが主体的に学ぶことはできないのではないかと感じました。以上です。

#### ○委員

「いじめ」に関してであれば、東京書籍は、「いじめ」に関する複数教材を組み合わせ、ユニット構成として重点的に考えるための工夫がなされています。例えば1年生の24ページ～34ページ「いじめのない世界へ」ではイラスト・読み物教材「傍観者でいいのか」・漫画「ふたつの心」と「いじめ」をテーマに3つの教材を組み合わせ、「いじめの未然防止」「いじめをしない、させない心を育む」学習活動への工夫がなされています。また、最近の情報モラルに関わった実際に子どもたちに普段起きるかもしれないトラブルを取り上げた教材がたくさんあって、特にその危険性が高くなる3年生に、例えば、3年生の28ページ「ある日の午後から」62ページ「自分の生活を見直して」106ページ「情報モラルと友情」と3つあります。この辺りはよく現在の子どもたちに合わせた工夫が成されていると思います。

#### ○教育長

情報モラルの扱いについてのご意見もありましたが、この辺りについてご意見ございますか。

#### ○委員

情報モラルに関わった部分で言えば、光村図書ですが、例えば1年生81ページ「言葉の向こうに」とその後の教材86ページ、コラム「ネットの書き込み、大丈夫？」ではインターネットやSNSの事を取り上げながら、教材と補助教材を使いやすく配置し、生徒に「いじめ」を（しない、させない、見過ごさない 姿勢）を系統的に育成できるように十分配慮されていると思います。

#### ○教育長

「いじめ」と情報モラルについての話題が続きましたが、それぞれの教科書なりの工夫がなされていると感じたところです。

他の観点について、教科書会社の特長は何かありますか。

### ○委員

教育出版についてです。1年生12ページをご覧ください。資料のはじめに、学習目標が明確に示されています。教材名の下に「礼儀とはどんなものだろう」と記載され、子どもにとって学習課題が明確になることや学習前と学習後の考えの変化を実感しやすいよう配慮されていると思います。さらに17ページをご覧ください。各教材の終わりには「学びの道しるべ」が配置され、ポイントとなる部分を外さず学習が進められるよう配慮されていると思います。

### ○教育長

教員が指導するにあたって、参考にしやすい部分での工夫についてのご意見だと思います。教科書を使う時に、子どもたちが興味を引かれるというのは大切な要素だと私は思います。学校図書の3年生の16ページをご覧ください。「女子高生たちの親切」では藤井寺市の子どもたちが地図入りで取り上げられています。こんな教材があると、きっと子どもたちは、この教科書に親近感がわいて、他の教材も興味をもって学習することができるのではないかと思います。それから、この教科書の特徴かと思いますが、各教材の後に「心の扉」として、その教材を理解する上で補足するような文章が必ず掲載されています。少し丁寧過ぎて子どもたちの考えを制約することになるかもしれませんが、私は、非常に丁寧な作りになっていて、工夫されていると思いました。

### ○委員

子どもたちが教科書に興味を引かれるというのは、大切な要素だと私も思います。そういう視点で教科書を見ると、光村図書の場合、例えば1年生なら128ページ、2年生なら114ページ、3年生なら130ページになるんですが、各学年に「なんだろうなんだろう」という「よしたけしんすけ」さんのミニ絵本のようなコーナーがあって、インパクトのある挿絵で子どもたちの興味や関心を引くことができると思います。またそのコーナーで、「自立」とは、「許す」とは、「正義」とはと、子どもたちが絵を見てイメージを膨らませながら、大人でも即答できないような、じっくりと考える必要のある教材を選んでいると思いました。

### ○教育長

生徒が興味を示すための工夫や学習活動を効果的に進めるための工夫など、そういうことのご意見が続いていたように思います。

では、他の観点で何かご意見ございますか。

### ○委員

廣済堂あかつきでは、これまでの長く読み継がれてきた親しみのある教材が多く掲載されています。こういった教材は、生徒の心を揺さぶり、助言的な記述を用いずに生徒自身に気づきを促すよう、配慮されています。新しい教材やカラフルなイラストを多用することも大切かもしれませんが、経験年数の少ない先生方にとって、親しみのある教材を多く掲載していることは、指導しやすいのではないかと感じました。

○委員

興味・関心で考えますと、日本文教出版では、他の教科とのつながり、部活動、職場体験学習、進路などいろいろな行事や日常生活での体験を生かした教材が展開されています。また、年間の学びを巻末に全体図で示し、効果的な教材配列ができるように工夫しています。

○教育長

長く読み継がれてきた親しみのある教材が効果的ではないかというご意見や、いろいろな行事や日常生活での体験を生かし教材化している良さというのも効果的ではないかというご意見であったと思います。

私の方から一点、光村図書の2年生の84ページ「夢を求めてパラリンピック」という教材が用意されています。90ページをご覧ください。アダプテッドスポーツが取り上げられています。この内容は、障がい者スポーツ推進という意味でも社会として取り組んでいかなければならない内容だと思います。また、これは本市のスポーツ推進計画にも合致するということをございます。こういう意味で、良さがあると思いました。他に意見はないでしょうか。

○委員

昨年度の採択の結果、現在、藤井寺市の小学校で、特別の教科道徳として日本文教出版の教科書が採用されています。小中の連携、生徒たちの授業の受けやすさといった点から考えると、日本文教出版が良いのではないかと思います。

○教育長

小学校と同じということで、効果があるのではないかというご意見でした。どのような観点でもかまいません。他に意見はございますか。

○委員

小学校の連携という意味では、光村図書も各学年の終わりに、小学校で習う有名な教材、例えば1年生の212ページの小学校2年生で学ぶ「橋の上のオオカミ」のような有名な教材を配置しています。子どもたちにとっては、取り組みやすいでしょうし、中学生になってもう一度読み直したときに、どう考えるというような、考え直すことによって自分自身の成長を知ったり、考えを深めたりすることができ、よく考えられた構成だと思います。小学校の連携という意味では東京書籍の各学年の巻末にある「心情円」は小学校でも、自分の心の葛藤を表したり、自分の考えを可視化できるツールとしては有効ではないかと思います。

また、「心情円」と一緒についている「ホワイトボード」も意見を交換するのに一定の効果があるのではないかと考えております。

○教育長

色々な観点からご意見がでていますが、他にございますか。



### ○委員

小学校との連携とは少し違うかもしれませんが、学びの記録が記入できる点では、どの出版社も工夫されています。特に、日本文教出版、廣濟堂あかつきは別冊が用意されています。その中でも、廣濟堂あかつきの別冊ノートは、単なる学びの記録や振り返りではなく、関係するコラムを掲載したり、学期のまとめを記録させたりと工夫がされています。また、4項目ごとにノートへ配列されているため、自分自身を振り返るときに分かりやすいように感じました。

### ○教育長

別冊形式についてのご意見がございましたが、この別冊形式について、他の委員の皆様、もしお考えがあれば、お伝えいただけるでしょうか。

### ○委員

別冊の内容で言えば、日本文教出版の別冊「道徳ノート」は、文章は掲載されず、生徒にしっかり記述をさせるよう工夫がされています。まさに学びの記録、振り返りに重きを置いている別冊になります。道徳ノートの使い方を全学年を通じて統一しているのも特徴の1つです。「自由メモ」で最初の印象や考えを記録し、「自分や友達と考えた意見」でクラスの仲間と共有し、「自分にプラス1」で生徒が多面的・多角的な思考をさらに深められ、「自分への振り返り」でまとめて振り返る。次に何をすればよいのか、そして、主体的・対話的で深い学びの流れを明確に示している別冊ノートであると感じました。

### ○教育長

別冊について、私なりに思うことを申し上げます。  
記録が残り振り返ることができるという点では別冊もいいと思いますが、道徳に求められる要素とは、私はやはり「子どもたちが主体的に考え、議論する」というところであると思います。別冊形式は確かに書くことによって考えが深まったり、先生が評価する上で、おおいに参考になると思います。ただ、先生の指導にもよりますが、書くための時間をどう確保するのか、国語のように読み取り学習になりはしまいか、本音を離れた望ましい内容を書くということにならないのかといった危惧も感じるところです。

別冊形式についてご発言をいただきましたが、観点をしぼらず、他の観点でございましたらご発言をお願いします。

### ○委員

日本教科書では、生徒と同じ年頃の人物を描いた教材を多数取り上げ、学校生活における行事や出来事とつなげやすいと思います。3年8ページ「スイッチ」では、クラブ活動で一生懸命練習に取り組みつつも、下級生との間でのやりとりや先輩として課せられた責任に悩む姿について考えさせる教材が用意されています。こういった身近な教材を一人で考えるのではなく、クラスみんなで共有できるような内容は、生徒が主体的・対話的に考える上で何より大切ではないかと感じています。

○委員

東京書籍には各学年に2項目ずつ「アクション」というコーナーが設けられています。例えば、1年生の94ページ「アクションのくじ引きの後の場面をやってみよう」では、子どもたちの身近な題材を取り上げ、ロールプレイをすることで、生徒が実際に場面を体験することからの気づきを利用して、多面的・多角的な意見を出し合い、議論することができるように工夫されています。文章の読み取りからだけでなく、生徒が実際に体験することでの気づきを上手に活用していると感じました。

○教育長

私も議論を子どもたちにさせるということが大事だと思っております。子どもたちに考え方を教え込むのではなく、子どもたちが自分自身で自分の事として考え、その考えを友だちとぶつけ合い議論する事が大切だと思います。光村図書の場合、「まなびのテーマ」というのが各教材の後にあって、考える観点が示されています。この観点は、答えが明らかに書いてあるのではなく、子どもたちに考える観点を与えて自分たちで考えさせ、考えを深めることができる示し方がされていると感じます。

様々な観点からの意見が出されたと思いますが、他に意見はないでしょうか。

○委員

一定意見が出されたのではないかと思います。私なりに方向性を確認してみたいと思いますが、教育長よろしいでしょうか。

○教育長

委員より提案がありましたが、みなさんいかがでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

分かりました。それでは委員、よろしく申し上げます。

○委員

各委員より、ご意見を聞かせていただきました。藤井寺市の子どもたちにふさわしい教科書を採択するにあたって、特別の教科道徳においては、学習指導要領の趣旨を十分踏まえて、子どもたち自身が主体的に学習に取り組み、自分を振り返り、友だちと議論を交わすことによって、多面的・多角的に深く考え、「いじめを無くし、自分自身の人生をよりよく生きるための基盤となる道徳性」を育ていけるよう工夫されていることが大切で、そのためには、どうあるべきかという価値が、ストレートに示されているような内容はあまり望ましくないということだと思います。やはり、おおいに道徳的価値について葛藤する場面があってこそ、他者の意見に耳を傾け、考えが深まる事になります。また、経験の浅い先生にも、授業の組み立て方や展開・評価について、配慮がなされていることが大切だと思います。もし他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかがでしょうか。

○教育長

今、採決に移ってはという意見が出されました。他に意見はありませんか。

ご意見が無いということですので、藤井寺市にとって、どの教科書がよりふさわしいと考えておられるのか、教科書会社名と選んだ理由を、述べていただいてもよろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

それでは、委員から順番に、お願いします。

○委員

光村図書出版がよりふさわしいと考えます。情報モラルに関わって、補助教材のコラムと合わせて、インターネットやSNSの事を取り上げながら、生徒に「いじめ」を「しない、させない、見過ごさない姿勢」を系統的に育成できるように十分配慮されていると思います。よって、光村図書出版がよりふさわしい教科書であると考えます。

○委員

私も、光村図書出版がよりふさわしいと考えます。

日本文教出版と悩んだのですが、光村図書出版は補助教材のコラムが、学習を進める上で効果的に配置されていると感じました。特に、先程も審議の中で教育長から話しがありましたが、3年生「アイツとオレ」と続くコラム「自分たちにできること」で、子どもたち自身が自分たちで考えて行動に移すというところまでを取り上げ、子どもたちが主体的に考え学ぶための工夫があるところは、良いと感じていますので、光村図書出版がよりふさわしいと考えました。

○委員

私も、光村図書出版がよりふさわしいと考えております。

「まなびのテーマ」というのが各教材の後にあって、この部分が、答えを明らかに書いてあるのではなく、子どもたちに考える観点を与えて、自分たちで考えさせ、考えを深めることができる示し方がされております。「考え議論する道徳への転換」が求められる中、先生方にとっても使いやすく、生徒にとっても分かり易いように作成されていると感じておりますので、光村図書出版がよりふさわしい教科書であると思います。

○委員

私も、光村図書出版がよりふさわしいと考えます。

日本文教出版と悩んだのですが、やはり、生徒にじっくりと考えさせる事ができる教材、生徒に葛藤させる教材が多く、生徒が多面的・多角的に考え、生徒同士が議論する中で、考えを深める事ができるよう十分配慮されていると思います。

○教育長

私も、光村図書出版がよりふさわしいと考えます。

理由は4点あります。1点目は、「学びのテーマ」のリードの仕方が、道徳の指導を進める上で、若い先生を含めて参考になるのではないかと思います。やはり、決めつけた価値の押しつけではなく、多様な見方、考え方を引き出すようなアドバイスになっている点が工夫されていると感じました。また、視点を変えて物を見る活動も示されており、考えが深まりやすいかと思います。2点目は、コラムでは、本当に具体例を元に議論ができるように工夫されています。科学的な根拠が必要な場面については、科学的な根拠が示されており、子どもたちが客観的に科学的に判断し易い形でまとめられていると感じました。3点目は、「いじめ」について取り上げている部分です。本当に大事な内容になりますが、それについても、子どもたちが主体的に行動を起こすことの大事さを伝えているところが良い点であると感じています。4点目は、障がい者スポーツであるアダプティッドスポーツについての内容も、障がい者スポーツ推進という意味でも社会として取り組んで行かなければならない内容だと思えます。これは、本市のスポーツ推進計画にも合致しているところです。教材としてはどの会社も素晴らしい物があるのですが、トータルとして光村図書出版がよりふさわしいと考えました。

各委員から、よりふさわしいと考える教科書についての発言がありました。その結果、光村図書がよりふさわしいと考える委員が、5名全員となりました。よって、中学校教科用図書 特別の教科 道徳においては、「光村図書」を採択するということがよろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

審議の結果、中学校教科用図書 特別の教科 道徳は、「光村図書」を採択することに決定いたします。

続きまして、「平成31年度使用小学校教科用図書の採択」を行います。「平成31年度使用小学校教科用図書」につきましても、平成26年度に行った、採択より4年が経過し、5年目に入ります。本来であれば、一からの採択となるところですが、文部科学省からの通知がありますので、この通知内容をもとに、委員の先生方には、学習指導要領の趣旨と、選定委員会の答申を踏まえ、本市の児童にとって最適な教科書を採択するために、審議をお願い致します。なお、先程もふれましたように、「平成31年度使用小学校教科用図書」につきましても、去る7月17日に藤井寺市立学校教科用図書選定委員会の答申を受けております。本日は、その答申内容も参考にしながら審議し、採択を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

では「平成31年度使用小学校教科用図書」採択を行います。文部科学省からの通知内容と選定委員会の答申内容について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

それでは説明させていただきます。「平成31年度使用小学校教科用図書」については、文部科学省初等中等教育局教科書課長から平成30年3月30日付け「平成31年度使用教科書の採択事務処理について」の通知文において、「平成29年度検定において新たな図書の申請がなかったため、基本的には前回の平成25年度検定合格図書の中から、採択を行うこととなること」また、「4年間の使用実績をふまえつつ、平成26年度採択における調査研究の内容等を活用することも考えられること」が示されています。また、選定委員会では「平成26年度採択における教科書を継続して使用していくことがふさわしい」との答申をさせていただいております。以上でございます。

○教育長

それでは、委員の先生方、小学校教科用図書の審議をお願いします。

○委員

4年間の使用実績として、選定委員会の中で、具体的な指摘は何かありましたか。

○選定委員長

選定委員会の中で、現在、小学校で使われている教科書に関する指摘はありませんでした。

○委員

選定委員会で、現在使用している教科書の問題点がないと判断されたのであれば、変更する必要はないと思います。

○教育長

他にご意見がないようであれば、小学校教科用図書に関しましては、継続して、平成26年度採択した現在使用している教科書を採択することで、よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

審議の結果、小学校教科用図書については、継続して今年度と同じ教科書を採択することに決定します。

長時間にわたるご審議ありがとうございました。平成31年度使用中学校教科用図書 特別の教科道徳 の採択は、選定委員会の皆様方、市教育委員会事務局、府教育委員会、各学校等の積極的な協力のもと、また市民からも幅広い意見が届けられ、本

日、無事採択することができました。特に中学校教科用図書 特別の教科道徳 の教科書採択にあたっては、幅広い観点から審議し、それぞれの教科書の良さを確かめながら、最終的により望ましい教科書を採択することができたと思っております。

また平成31年度使用小学校教科用図書の採択についても選定委員会をはじめ、各方面の積極的なご協力のもと無事採択することができました。来年度は、本日採択した教科書を用いて、本市の児童生徒がしっかり学習に励み、学力が向上していくこと、道徳性がはぐくまれていくことを期待したいと思います。

これをもちまして、平成31年度藤井寺市の児童生徒が使用する教科用図書の採択に関する会議のすべての日程を終了いたします。ありがとうございました。

会議事項が終了したので、閉会を宣する。

午後4時14分